

ひょうご五国撮り旅

第6回 播磨 3月30日、4月4日

プロが写真術手ほどき

兵庫県内を巡る日帰り撮影バスツアー「ひょうご五国撮り旅 第6回(播磨編)」を3月30日、4月4日に実施します。昨年の創刊120周年を記念したツアーシリーズの好評に応え、引き続き開催いたします。今回は「春の龍野城下町と奥播磨かかしの里」です。桜の名所で知られる龍野城周辺は、古い街並みと相まって春を感じさせる絶好の撮影スポット。「奥播磨かかしの里」では集落のいたるところにかかしが設置されており、思わずレンズを向けたくなるでしょう。このほか姫路市夢前町の地酒「雪彦山」の蔵元「壺坂酒造」などを巡ります。

ツアーはミントクラブと神戸新聞旅行社の合同で開催する年間企画。毎回、神戸新聞社のカメラマンを講師に迎えた写真撮影旅行です。

「播磨の小京都」と称され、閑静なたたずまいが魅力の龍野城下町。桜の名所「龍野公園」一帯は「一目三千本」の絶景が広がります。桜並木の「文学の小径」、茶室「聚遠亭(しゅうえんてい)」、「龍野神社」など。そしてたつの市のシンボル「龍野城」と周辺の武家屋敷「日脇坂屋敷」、大正期の建築物を改修した「たつの市醤油の郷 大正ロマン館」は地元の特産品しょうゆなどの情報を発信しています。

一見、地元の人と見まがうほど精巧なかかしが立ち並ぶ姫路市安富町の「奥播磨かかしの里」。山あいの集落内に100体以上が民家の中や道端、畑などで昔懐かしい暮らしの様子を再現しています。

昼食は同市夢前町の農家レストラン「且緩々(しゃかんかん)」で地元の野菜中心にした健康的な料理の数々をビュッフェ形式で用意。また同町の蔵元「壺坂酒造」で見学、試飲や買い物を楽しんでいただきます。

実施日

2019年3月30日(土)、4月4日(木)

旅程

- 神戸発(7時15分)
- 姫路発(8時25分)
- 播磨の小京都「龍野」を散策(撮影スポット：三木露風の赤とんぼ歌曲碑・龍野神社・聚遠亭・龍野城など)
- 昼食
- 農家レストラン「且緩々」
- 奥播磨かかしの里(撮影スポット)
- 壺坂酒造(撮影スポット)
- 案内付きで蔵見学・試飲・お買い物
- 姫路着(16時50分)、神戸(18時)
- *帰着は予定時刻であり交通状況により前後する場合があります。ご了承ください。

旅行代金

8980円(大人ひとりさま)
*ミントクラブ会員は当日、車中で会員証を提示すると200円のキャッシュバックがあります。

受け付け・問い合わせ

神戸新聞旅行社
☎078・362・7174
9時半～17時(日・祝休み)
9時半～13時(土)

春のたつの市を彩るのは桜並木で知られる龍野町の「龍野公園」です。城下町を見渡す山すそに広がり、地元出身の三木露風が作詞した童謡「赤とんぼ」の歌碑、龍野藩主監獄家の茶室「聚遠亭」などがあります。大正時代、地元出身の有志が私財を投じて千本の桜を植えたのがきっかけ。1955年に旧龍野市が公園として整備しました。



満開のサクラの海に浮かぶ、たつの市民のシンボル龍野城。別名霞城と称され播磨有数のサクラの名所だ。たつの市龍野町

「サクラの海」に浮かぶ城

隣接する龍野城は、500年前に赤松村秀が、鶏籠山山頂に築城しました。その後、江戸時代に信州飯田から移ってきた脇坂安政が山ろくに築き、明治期に廃城。1979年に本丸御殿、隅櫓などを復元。市街地を一望でき、たつの市民のシンボルとなっています。周囲の武家屋敷、しょうゆ蔵などとともに歴史的な景観を醸し、サクラとの競演は撮影意欲をそそるはず。また、地元の岡上正人さんが「町おこしになれば」と自作のかかしを美家近くの観光施設に置いたのがはじまり。たちまち評判となり増設。現在、山あいの小さな集落は、約130体のかかしでにぎわっています。骨組みは木材で、新聞紙などで肉付けし、古着を着せて仕上げます。空き家を活用して、かかしで昔の暮らしを再現し、日本の原風景を垣間見ることができま



民家の縁側で「くつろぐ。かかしたち。失われた日本の原風景を再現している＝姫路市安富町開

蔵元の面影色濃く残る

1805(文化2)年に旧神崎郡で創業、委ねた酒造りをモットーとしています。その後、現在の姫路市夢前町に移転しました。「雪彦山」「金壺」の銘柄で知られています。昔ながらの寒仕込みで、蔵内には温度管理機器は極力置かず、地元播磨・夢前町の気候風土にすべてを



昔ながらのたたずまいを残す蔵元「壺坂酒造」は、地元夢前町の酒造りにこだわる。姫路市夢前町前之庄

壺坂酒造

昔ながらのたたずまいを残す蔵元「壺坂酒造」は、地元夢前町の酒造りにこだわる。姫路市夢前町前之庄

●農家レストラン「且緩々」



姫路市夢前町山之内地区にある自然派のこだわりレストラン。読み方は「しゃかんかん」。禅語で「落ち着いてあわてず、焦らず、ゆつくり」と。「食養生」をうたい、地元の旬の食材、発酵食品、玄米などをかんだんに使った料理が人気です。なかでも昼食のビュッフェは、地元産の食材にこだ

地元食材の昼食ビュッフェ



季節の野菜、特産品で調理したメニューが並ぶ昼食ビュッフェ(左)旧山之内幼稚園を活用した農家レストラン＝姫路市夢前町山之内